

吉田みきと

昭和44年3月いわき市生まれ。平三小・平三中・磐城高校を経て、シンガポール国立大学修士課程(MBA)卒。公認会計士として、中央監査法人入社。世界4大会計事務所であるプライスウォーターハウス・コーパースにて、上場企業の経営ノウ

ハウを学ぶ。シンガポールで日系企業進出を支援。帰国後、東日本大震災を天命ととらえ、ふるさといわきに戻る。現在、数字が読めるいわき市議会議員(2期目)として、いわきの復興とさらなる発展のためにまい進中。

いわきが「選ばれるまち」になるために。

公共事業の財源は、市民ひとりひとりが納めた税金です。それを将来役に立つ“資産”にしていきたい。



台風19号の大雨による水害 —現状確認と活動—

この度の台風19号の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い地域の復旧と皆様の生活の安心のために、これからも汗を流してまいります。お困りのことなどございましたら、お気軽にご相談をいただければと思います。

被害が大きかった平窪の下平窪公民館では、10月23日から支援物資の配給がはじまっています。



災害ボランティアで泥かき

東京から来てくれた友人と、災害対策センターに登録して、小川地区のボランティア活動に参加しました。流されてきた大量の稲わら除去や泥かきをしました。



避難所によっては、写真のような段ボールベッドの設置やプライバシー重視の仕切りがないところもあります。



平窪の平四小や四倉の仁井田運動場では、自衛隊によってお風呂が提供されました。

11月臨時議会が開催され、201億円の追加補正予算が組まれました。主な内容は水害被災に対する対応です。

- ・災害ゴミの処理
- ・被災住宅の応急復旧
- ・被災事業所への支援
- ・平浄水場等公共施設の補修

等、さまざまな内容です。復旧まで、道半ばです。



提案!



台風・水害被災に対する提案

「千年に一度の地震」、「数十年に一度の水害」といわれていますが、立て続けに発災した以上、事前の防災対策を見直す必要があります。また事後対策として、しなやかな対応、臨機応変な対応、被災状況に応じた複数の支援策、被災した方々の気持ちに寄り添った対応等をしていきたいです。

みきと通信

市政だより Vol.9

発行者：吉田みきと後援会

吉田みきと公式サイト <http://officey.biz/>

後援会
事務所

〒970-8026
福島県いわき市平字愛谷町2-1-2
☎ 0246-88-7855
✉ mail@officey.biz



よかったら
友だち登録
してください!

吉田みきと @zae2195h
LINE@



☎ 0246-88-7855

「みきと通信」の感想、市政へのご意見などお気軽に市民の皆さまの声をお聞かせください。



令和元年9月いわき市議会
(仮称)磐城平城・

一般質問

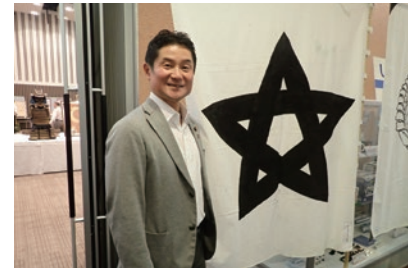
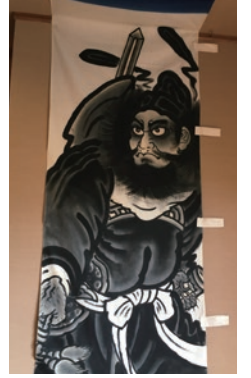
城跡公園の背景

磐城平城跡の土地は、明治期に民間売却され、宅地化・細分化されました。一昨年から、いわき市では記憶に残る城跡公園とすべく、本丸跡地部分を公有地化しました。現在、どのような城跡公園とするか、計画作業中です。

来場者の期待に応えるための展示について

吉田 本市の歴史を学び伝える場として、整備を検討している体験学習施設に、磐城戊辰戦争150年記念展示会の展示パネルや、磐城平城模型、いわきの偉人紹介パネル、いわき絵のぼりなどをしっかりと展示し、来場者の期待に応えるための**常設展示が必要**と思うが、市の考えは。

回答 常設展示については、多目的な利用を図る休憩所など、限られたスペースでの展示となりますが、その展示内容については、磐城平城に関する既存資料をはじめ、現在、調査・研究が進められています。平城文献等調査における成果の活用などについて、**今後検討していく考え**です。



提案!



常設展示は必須!

この地に来て、はじめて知ることができる、誇りとなるような資料展示があること、いつでもアクセスできることが必要。「せっかく来たのに見られなかった・・・」では逆効果です。

最短でアクセスできる階段の整備について

吉田 **アプローチ階段の整備**目的について伺います。

回答 本公園は、いわき駅北口に近接している絶好の立地条件となっております。駅から最短でアクセスできるよう、現在、鈴木辰三郎像が設置されている場所に、**新たに階段を整備すること**としたものであります。



提案!



いわきの玄関口の
誇れる顔に!

出張者が電車で、はじめていわきを訪れて、第一印象を持つのがこの城跡公園です。また訪れたいような、風格のあるアプローチにしたいです。

公園整備後における、本丸広場の活用について

吉田 本丸広場では、民間団体の主催により、今年で4回目の開催となる「ビア博いわき'19」が開催されている。公園整備後における、本丸広場を活用した**ビア博開催の可能性**は。

回答 公園整備後においても、中心市街地の活性化につながるイベントについては、**開催可能である**ものと考えます。



提案!



常に若者が
集まれる場所に!

利用されない公園は、ただの負の遺産です。老若男女問わず、常に利用されるような運営の仕組みを構築したいです。